

1. 件 名：京都大学複合原子力科学研究所の事業者防災訓練の報告について

2. 日 時：令和5年3月30日 13:30～14:35

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立大学法人京都大学複合原子力科学研究所

中央管理室長 他1名

5. 要 旨

京都大学から、令和5年1月10日に実施した同大学複合原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練について、配布資料に基づき、防災訓練実施結果報告の概要等の説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 防災訓練の結果及び評価について、備え付け資料が不十分であったことを記載すること。
- ・ 防災訓練の結果及び評価について、プラント班への対応に関して、今後の原子力災害対策に向けた改善点（対策）の項目3と記載の整合を図ること。
- ・ 防災訓練の結果及び評価について、評価の項目では、目標に対する達成度合いを記載すること。
- ・ 前回訓練時の改善点への取り組み結果について、項目3のEALの判断根拠の改善に関しては、要素訓練で効果を検証すること。
- ・ 総括について、前回からの課題が解決できずに継続して対応する必要が生じたことに係る総括を記載すること。
- ・ 要素訓練の訓練実績と今後の原子力災害対策に向けた改善点について、資料に記載されている以外の改善事項があれば追記すること。

京都大学から、本日の面談を踏まえて防災訓練実施結果報告書を精査し、取りまとめた後に提出するとの説明があった。

6. その他

配布資料

資料1：防災訓練の結果の概要（京都大学）